

## 診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院循環器センター内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この研究では、亡くなられた方の診療情報も、貴重な情報として、研究対象として扱わせていただきます。この案内をお読みにになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究にご自身やご家族等の診療情報を使ってほしくないとお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

### 【対象となる方】

調査対象となる期間： 2019年6月1日 ～ 2024年4月30日の間に、20歳以上で三尖弁逆流症のために虎の門病院循環器センターに入院・通院し、三尖弁形成術を受けられた方。僧帽弁手術を併施した場合は除く。

### 【研究課題名】

三尖弁逆流症の手術後に僧帽弁逆流の増悪をきたす関連因子の検討

### 【研究の目的・背景】

#### 《目的》

本研究は三尖弁形成術後の僧帽弁逆流の増悪をきたす因子について検討することで、三尖弁手術の成績を向上させることを目的とする。

#### 《研究に至る背景》

三尖弁逆流症は心不全の原因として年々増加しており、外科治療として主に三尖弁形成術が施行される。しかし、術後に有意な僧帽弁逆流症を生じる症例があり、この原因については未だ明らかでない。

### 【研究期間】

2025年1月28日 ～ 2027年3月31日

### 【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院循環器センター内科 児玉隆秀において研究終了後5年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報： 診断名、年齢、性別、身長、体重、既往歴、内服歴などの診療情報、血液検査、心電図検査、心臓超音波検査などの画像検査

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：循環器センター内科・ 児玉隆秀

研究機関の長：院長 門脇 孝

【利用する者の範囲】

該当なし

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、 2025 年 7 月 31 日 までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 循環器センター内科 ・ 児玉隆秀（不在時 大森奈美）

電話 03-3588-1111(代表)